

令和4年度京都ジュニアチャレンジスイムミート 二次要項

(一社) 京都水泳協会競技委員会

1. 新型コロナウイルス感染拡大予防対策について

本大会は、(公財)日本水泳連盟が定める「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」および(一社)京都水泳協会が定める「新型コロナ感染症拡大予防の対策措置～競技会開催におけるガイドライン」に沿って競技会を行う。

- (1) 詳細は、京都水泳協会 HP 掲載の対策方針等を参照のこと。
- (2) 京都水泳協会が定めるガイドライン(2022年2月6日付)1①ア～オに該当しない場合、当日朝に提出する書類を作成し、忘れずに提出すること。
- (3) 館内では競技を除き、常時マスクを着用すること。
- (4) 各自の競技終了後、すみやかに帰宅すること。
- (5) 会場内の入場は出場する選手、引率責任者および学校が認めたコーチ、競技役員のみ許可する。保護者等一般来場者の入場及び応援を禁止とし、無観客大会とする。

2. 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度公益財団法人日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技進行は、原則タイムスケジュールに従って行う。
- (3) 全競技、タイムレース決勝にて実施する。
- (4) 全競技、10レーンで行う(レーン設定は0～9レーンとする)。
- (5) 招集は、競技開始20分前から行う。招集所で水着、テーピング、商業ロゴマークの確認を行う。
なお、通告にて招集開始を案内する。
- (6) 予選競技を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当日の午前9時30分までに大会本部に届け出ること。
時間を過ぎた場合は、棄権料3,000円を添えて棄権届を提出すること。なお、無断で棄権した場合は、3,000円を別途徴収する。
- (7) レーン紹介は行わない。
- (8) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (9) 50m～200mの自由形・平泳ぎ・バタフライ・個人メドレー各種目は、オーバーザトップ方式を採用する。
- (10) 背泳ぎにおいて、バックストロークレッジを使用する。
- (11) 競技成立後は、自レーンより退水すること。
- (12) 本大会は SEIKO システムを使用する。詳細については、「9. SEIKO システムについて」を参照すること。

3. 表彰について

- (1) 本大会での表彰式は実施しない。
- (2) 各競技3位までの入賞者には、賞状と副賞のメダルを授与する。
- (3) 賞状の受け取りは、競技終了後、大会本部(記録室横の大会本部室)付近通路で行う。

4. 全体スケジュール

- (1) 全体の競技予定時間は以下の通りとする。

日時	区分	出場選手 入場時間	W-up (メインP)	公式スタート	競技 開始時刻	競技終了 予定時刻	閉門時刻 (予定)
9月24日(土)	全区分	7時25分	7:30～9:15	8:30～9:00	9時30分	16時20分	17時30分

- ①メインプールのウォーミングアップは1回で実施する。
 - ②場所取りは全チームを対象として行う。場所取り入場後、開場(選手入場)する。
※場所取りは1名のみとする。
 - ③飛込プールのウォーミングアップは、競技開始(9時30分)より競技終了後15分間までとする。
- (2) 競技役員主任ミーティング、控え場所の場所取り入場時刻はそれぞれ以下の通りとする。

日時	場所取り入場	競技役員 主任会議	競技役員 全体会議	メドレーリレー オーダー締切	フリーリレー オーダー締切
9月24日(土)	7時20分	8時30分	8時45分	なし	なし

(3)開門に先立ち、控え場所の場所取りは各チーム代表者(コーチ等)1名のみ、2階正面入口(阪急西京極駅方面のスロープ側)からの整列入場を行う。なお、入場整理員の指示には必ず従うこと。

5. プールの使用について

(1)50m長水路プール

- ①水深は1.6mに設定する。
- ②練習は競技開始15分前までとする。
- ③0レーンは、アップ開始時刻よりダッシュレーンとする。ただし、スタート側からの一方通行とする。
公式スタート練習は、0~3レーンにて実施する(人数により、順次4レーン以上を増設する場合がある)。
なお、公式スタート練習0レーンをA・Bクラス専用レーンとする。
- ④9レーンはアップ開始時刻よりダッシュレーンとする。ただし、ターン側からの一方通行とする。

レーン	通常	公式スタート練習の時間帯
0レーン	ダッシュ専用レーン ※スタート側からの一方通行	公式スタート練習レーン ※A・Bクラス専用
1レーン	通常練習レーン	公式スタートレーン ※全クラス対象
2~3レーン	通常練習レーン	公式スタートレーン ※Cクラス以上
4~8レーン	通常練習レーン	通常練習レーン ※公式スタートレーンになる場合あり
9レーン	ダッシュ専用レーン ※ターン側からの一方通行	ダッシュ専用レーン ※ターン側からの一方通行

- ⑤スタート側ダッシュ・公式スタートの順番待ちは、0レーン側プールサイドからの1列とする。
 - ⑥ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
 - ⑦練習時、右側から入水せず、左側より足から入水すること。
- ### (2)飛込プール
- ①水深は5m(固定)になっている。
 - ②練習は競技開始(9時30分)より競技終了後15分間までとする。
 - ③練習用のため、スタート練習(飛び込み)は禁止する。また練習目的外での使用、他の選手の妨害行為は厳禁とする。

6. 会場の使用について

- (1)選手控え所は、メインプール2階・3階スタンド及び後方通路とする。
- (2)選手・付添の応援エリアは、1階アリーナ内には設置しない。
- (3)0レーン側プールサイドにコーチ席を設置する。ただし大声を出す応援は禁止する。
- (4)9レーン側プールサイドでの応援は禁止する。また、プール内階段での応援も禁止する。
- (5)プールサイドは、選手・コーチ等の上履き(シューズ・サンダル・スリッパ等)の使用を禁止する。必ず素足になって移動すること。
※大会役員・競技役員は、靴底が白い上履きに限り使用を許可する(スリッパの使用は禁止する)。
- (6)「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を遵守すること。
- (7)更衣室のロッカーの使用はできない。会話及び控え場所としての使用、飲食は禁止する。
- (8)更衣室の荷物は、更衣として使用後は必ず持ち帰ること。
※置き荷物は、忘れ物として扱う。(忘れ物は、大会本部にて一定期間保管する。)
- (9)会場設置のコンセントの使用を禁止する。使用が判明した場合、該当使用機材を没収する。
- (10)会場のゴミ箱を使用せず、各自持ち帰って処理すること。
- (11)大会終了後、使用した控え場所を清掃すること。なお、全体の後片付けにあたっていないチームは、自団体控所の清掃終了後、すみやかに退出すること。
- (12)大会終了後、館外でのミーティングは禁止する。
- (13)京都アクアリーナの営業開始時間(9:00)より前の、1階フロアへの立ち入りとその階のトイレの使用並びにエレベーターの使用を禁止する。同時間までのトイレは、メインプールにあるトイレを使用すること。

7. 注意事項

- (1) 盗難防止のため、貴重品の保管については、各選手・監督の責任において管理すること。
- (2) 競技役員用の駐車場は、競技役員として出席し、事前に許可された関係車両のみとする。なお、駐車の際は駐車許可証を外部より確認できる位置に置くことを条件とする。駐車許可証のない車両があった場合は、当該関係団体への指導を行う。 ※出場団体のバスでの来場・駐車については認めない。
- (3) 会場におけるトラブルが発生した場合、当該者の関係所属団体先を確認の上、当該引率責任者による事後対応を行うこと。

8. 保護者等への注意事項の連絡について

- (1) 出場団体の責任者は、以下の点を事前に選手・保護者等に連絡すること。
 - ① 選手送迎に関する「京都アクアリーナを使用する競技会での送迎等について」を事前に確認すること。
- (2) 盗撮、不審者対応について
各種競技大会において日本水泳連盟や京都水泳協会の目的を逸脱した営利目的・わいせつ目的等によるビデオ・写真などの撮影が行われ、インターネット・雑誌その他の媒体に掲載、販売される事態が散見されております。競技大会の円滑な運営と選手保護・育成のため、撮影に関する一定のルールを設けております。
 - ① 撮影対象が競技会方針と異なると思われる場合は、記録内容の確認を求めるとする。
事案によっては、警察に引き継ぐこともある。
 - ② 不審と思われる行為を受けたり、見かけられたりした場合は、近くの競技役員まで申し出て下さい。
- (3) 撮影にあたって
 - ① 本大会は、撮影時には撮影許可ビブスの着用が必要となります。撮影許可ビブスは登録団体への販売のみとし、撮影を希望する個人への販売は行いません。撮影を希望される場合は、出場するチーム代表者に問い合わせをしてください。
 - ② 当日のみ有効の撮影許可ビブス(貸し出し用)は、発行しません。

9. SEIKO システムについて

- (1) SEIKO 社の全自動計時システムをタッチ板・スタート台等で使用する。
- (2) スタート台の斜角度は10° とする。
- (3) スタート台にはスターティングブロックを設置する。本大会はスターティングブロックの調整を許可する。
なお、使用にあたっては各自の責任において調整すること。
- (4) スターティングブロック部分の固定は確実にすること。固定せずに使用して破損した場合は、実費相当額を負担すること。
- (5) 本大会は、バックストロークレッジを使用する。使用しない場合は、各レーンの競技役員に申し出ること。

10. 結果速報・動画配信について

- (1) 本大会では、超速システムを運用する。会場での速報掲示は行わない。
- (2) 競技の様子を、大会期間中のみリアルタイム動画配信システム(YouTube Live)にて配信する。
(大会当日、京都水泳協会 Web サイトにリンクを掲載する。)
- (3) 会場内のネットワーク環境等により、途中で結果および動画配信を中断することもある。
- (4) 動画配信は(一社)京都水泳協会が独自に配信しているため、京都アクアリーナへ問い合わせをしないこと。

上記項目についての選手への事前指導、保護者の方への事前連絡について、各チームの代表者・引率責任者・担当者が責任をもって周知徹底すること。

なお、使用状態が悪い場合、今後の会場使用ができなくなることもある。十分に注意すること。

以上